

課題 10 : Geolocation API を使おう

Geolocation API は HTML5 で位置情報を取得するものです。

jQuery ではありませんが、JavaScript の延長線上です。

対応ブラウザは、IE9、Firefox3.6 以降、Safari 5 以降、Opera10 以降、Google Chrome です。今回は Firefox をダウンロードしてください。

ただし、スマートフォンではないので、GPS がありません。そのため簡易の位置情報になってしまいますが、やってみましょう

【geoget.html】

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
  <meta charset="utf-8" />
  <title>位置情報取得実験</title>
</head>
<body>
<script type="text/javascript">
  var watchID;
  if (navigator.geolocation) {
    // 現在の位置情報取得を実施
    watchID =navigator.geolocation.watchPosition(
    // 位置情報取得成功時
    function (pos) {
      var location = "<li>" + "緯度：" + pos.coords.latitude + "</li>";
      location += "<li>" + "経度：" + pos.coords.longitude + "</li>";
      location += "<li>" + "精度：" + pos.coords.accuracy + "</li>";
      document.getElementById("location").innerHTML = location;
    },
    null,
    { enableHighAccuracy: true });
  } else {
    window.alert("本ブラウザでは Geolocation が使えません");
  }
  function clearWatchPosition() {
    navigator.geolocation.clearWatch(watchID);
  }
</script>
```

```
<div class="page">
  <header>
    <div id="title">
      <h1>位置情報取得実験</h1>
    </div>
  </header>
  <section id="main">
    <ul id="location">
    </ul>
    <input type="button" value=" 定期的な位置情報の取得を停止 "
onclick="clearWatchPosition()" />
  </section>
  <footer>
  </footer>
</div>
</body>
</html>
```

HTML5 では、Geolocation API を使うことで位置情報を取得することができます。位置情報を取得するところはブラウザがやってくれるので、そこまでむずかしくありません。

メソッドは3つしかなく、

getCurrentPosition()

watchPosition()

clearWatch()

getCurrentPosition()は一度だけ位置情報を取得します。ただし、トンネルや電波の届かないところでは取得に失敗してしまいます。より確実に位置情報を取得する場合は watchPosition()を使用します。ただスマートフォンでは電池の消耗が激しくなります。そこで clearWatch をして位置取得を中止する必要があります。

またパソコンの場合は、無線 LAN やルーターの IP アドレスからおおよその位置を調べてくれます。しかしかなり誤差があります。おおよその県がわかる程度と考えればいいでしょう。

スマートフォンをお持ちの方は、

<http://gapichapter6.appspot.com/index> に実験用のサイトを作っておきますので、実行してみてください。緯度経度を表示します。それを Google の地図で 31.58242095,130.54285513 等入力すると現在どのあたりか表示してくれます。